



2014
12/20 PM3:00 土 開 演
名古屋能楽堂

S席：¥9,000
 A席：¥6,000
 学生席：¥2,500
 (全席指定 税込)

能
恋重荷

こいのおもに

恋に焦がれて、
 思いの煙は立ち昇り、
 稲葉山に吹く山風に吹かれる
 ように乱れ乱れている。

梅若玄祥

(二〇一四年人間国宝認定)

美しい女性に恋をしてしまった
 老人の悲哀と恨み、

梅若玄祥が

演じます。



狂言

彦市ばなし

いたずら天狗がくり広げる

民話の世界

平逸山 茂
 三郎又村 野

チケット
 発売所

中京テレビ事業チケットセンター
 チケットぴあ (Pコード:439-112)
 名古屋能楽堂
 ローソンチケット (Lコード:40631)
 愛知芸術文化センターPG

052-320-9933
 0570-02-9999
 052-231-0088
 0570-084-004
 052-972-0430

栄プレチケ92
 e+ (イープラス)

名鉄ホールチケットセンター
 名古屋市文化振興事業団チケットガイド
 ローソン・ミニストップ店頭 他 有名プレイガイド

052-953-0777
 eplus.jp

052-561-7755
 052-249-9387

10月11日(土)
 10:00~
 一般発売開始

(学生券)

ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込み下さい。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお願い致します。

※番組・出演者は変更になる場合があります。ご了承ください。
 ※未成年者のご入場は、保護者同伴の場合でもお断りしています。

公演に関する
 お問い合わせ

中京テレビ事業 ☎052-957-3333

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTVビル6F(月~金 AM10:00~PM5:00/土・日・祝日休業)

【主催】 中京テレビ放送

【共催】 エムアンドエム

【後援】 名古屋伝統文化を守る会

中京テレビ事業

検索

http://cte.jp



狂言

解説
プレトーク

彦市ばなし

ひこいちばなし
(約55分)

殿様 野村又三郎
彦市 茂山 逸平
天狗の子 茂山 童司

能

恋重荷

こいのおもに
(約70分)

山科莊司 梅若 玄祥(シテ)
山科莊司の霊
白河院の女御 井上貴美子(ツレ)
廷臣 高安 勝久(ワキ)
廷臣の従者 野口 隆行(アテ)

笛 藤田六郎兵衛
小鼓 後藤 嘉津幸
大鼓 河村 眞之介
太鼓 加藤 洋輝

間狂言 野村又三郎
後見 赤瀬雅則 小田切康陽
地謡 山崎正道 山本博通
角当直隆 川口晃平
井上和幸 河本 望

演目紹介

今年の名古屋華舞台、狂言は野村又三郎、茂山逸平を迎えての「彦市ばなし」。木下順二の民話劇を狂言様式にした、うそつき名人と殿様のやり取りが楽しい作品です。能では高貴な女性にもあそばれる老いらくの恋を描く「恋重荷(こいのおもに)」。

美しい女性に恋をしてしまった老人の、悲哀と恨みを梅若玄祥が演じます。

開演前には詳しい解説(フレクチャー)があります。

茂山逸平

しげやま いっぺい



4歳の時「楽平餅」の童にて初舞台。その後『千歳』『三番』『釣鐘』を抜く。1994年に、宗彦、茂と「花形狂言少年隊」を結成し活躍する。また2000年より心・技・体、教育的古典狂言推進準備研修講座の会「TOPPA」を千三郎、正邦、宗彦、茂、童司と共に主催し、活動。1995年、東京にて狂言小劇場の公演を開始。スペイン等の海外公演にも参加。その一方で、東映映画「将軍家光の乱心・激突」の竹千代役で出演。NHK朝の連続テレビ小説「京ふたり」「オードリー」他、舞台・CMと数々出演。また兄宗彦と共に、新作二人芝居「宗彦、逸平のThat's Entertainment」おそれいらず、シェイクスピアさん」に挑戦するなど幅広く活躍する。

2006年より「HANAGATA」を正邦、宗彦、茂、童司と共に再開。企画製作そして出演までを自分たちでおこなう「HANAGATA」を通し、狂言の魅力を存分に味わっていただき、自らの芸を磨くことを目的としている。

2006年秋から1年間フランスに留学した。

著書に「茂山宗彦茂山逸平と狂言へ行く」(旬報社)がある。

梅若玄祥

うめわか げんしょう



1948年 気品あふれる流麗な芸風を持つ芸術院会員五十五世梅若六郎の嫡男として生まれる。祖父は人間性の深みをドラマチックに演じた名人二代梅若実。曾祖父は、明治維新以後衰退していた能の復興に尽くした明治三名人の一人、初代梅若実である。2008年12月 梅若家中興の祖である玄祥の名を後世に残すため、345年ぶりに名跡復活、二代玄祥と改名する。

1951年 能「鞍馬天狗」子方にて初舞台
1979年 梅若六郎家 当主継承。財団法人梅若会理事長、梅若能楽学院長に就任
1986年 重要無形文化財総合指定(能楽)
1988年 五拾六世 梅若六郎を襲名
1999年 演劇大賞
主演男部門優秀賞受賞/日本芸術院賞受賞
2005年 社団法人日本能楽会理事に就任
2006年 紫綬褒章受章
2007年 日本芸術院会員を拝命
2008年 二代梅若玄祥と舞台名を改名する。
2012年 舞台生活60周年をむかえる。
2014年 重要無形文化財個人指定(人間国宝)となる。

十四世

野村又三郎

のむら またさぶろう



東京藝術大学卒業。昭和51年初舞台。平成23年十四世・野村又三郎を襲名。松尾芭蕉賞新人賞、名古屋芸術奨励賞等を受賞。皇太子御成婚奉祝能、皇后主催御前演奏、映画「ラストサムライ」、愛知万博開会式等に参加。

「名古屋伝統文化を守る会」

賛助会員募集中!

年会費

◆賛助会員(法人): 1口 30,000円
◆賛助会員(個人): 1口 10,000円
◆賛助会員(学生): 1口 3,000円

会員特典

◆「名古屋華舞台」への御招待(1名様)
◆「名古屋華舞台」演者との親睦会へのご案内 他